

# DEN A社長が謝罪

## まとめサイト休止問題で

IT大手ディー・エヌ・エー(DEN A)が同社の情報まとめサイトを相次いで休止した問題で、同社の守安功社長は7日に記者会見を行い、「成長を追い求めすぎて、正確な情報を提供することができなかった」と謝罪した。誤情報や無断転用など、まとめサイトの問題が浮き彫りとなり、識者からは「ビジネスとしてひどく、内容の責任を取るべきだ」と厳しい声が上がっている。

### 「原稿チェック体制なかった」

「原稿をチェックする体制がなく、意識も低かった」。守安社長は3時間及び会見で頭を下げ、第三者委員会の設置などを明らかにした。「(無断転用などが)組織的に行われているのでは」との質問も出たが、守安社長は「現場への注意徹底が不十分だった」と言うにとどめた。

問題となったまとめサイトのうち、先月29日に休止された医療系サイト「WE・L・Q」の原稿は専門知識の乏しい外部ライターらに

よって書かれ、誤情報や無断転用があるとの指摘が相次いでいた。ファッション情報をまとめた「ME・RE・V」など9サイトも今月7日までに非公開となった。

ここ数年で急成長しているまとめサイト事業について、同社は新たな収入の柱と位置付け、来年度中には一時、利益が10億円を超えると想定していた。

まとめサイトは、閲覧数に応じて広告収入が増える仕組みから、閲覧数稼ぎのため、原稿の信頼性より本

数が優先されてきた。同社の調査では、マニュアルや外部ライターへの指示で、他サイトからの無断転用の推奨と読み取れるような点が確認されたが、同社はサイト上で、原稿の正確性などについて「一切責任を負わない」としていた。



大石泰彦・青山学院大学教授(メディア倫理)は「ネット上の情報を少しだけ書き換え、無断転用を隠そうとまでしているのに、運営者が内容に責任を取らない。ビジネスとしてあまりにもひどい」と厳しく非難する。

東京都は、同社サイト内の化粧品や健康食品についての原稿で誇大広告とみなせる内容があり、医薬品医療機器法違反(誇大記述・広告)の疑いで調査を始めた。

影響は、他社運営の複数サイトにも波及。サイバーエージェントやリクルートホールディングスなどは、運営するまとめサイトの原稿の一部を非公開にし、正確な情報や著作権侵害がないか確認を始めた。

金山勉・立命館大学教授(メディア論)は「閲覧数を稼げれば、情報は玉石混交でも構わないというビジネスは、もはや成立しない。運営者側が門番となり、内容の責任も負うべきだ」と指摘している。

記者会見で謝罪するディー・エヌ・エーの守安功社長(中央)ら(7日、東京都渋谷区で)